

おはなし会

事業名	日時・参加人数
大人のおはなし会〔読書会〕（吾亦紅）	中 止 （新型コロナウイルス感染症 拡大防止及び ICシステム導入作業のため）
乳幼児向けおはなし会〔ブックスタート併用日〕 （職員＋図書館ボランティア協力）	
おはなし会〔幼児から低学年〕（吾亦紅）	
ブックスタートのおはなし会（職員）	
おはなし会〔幼児から低学年〕（図書館ボランティア）	
乳幼児向けおはなし会（図書館ボランティア）	
乳幼児向けおはなし会（図書館ボランティア） 保健師育児相談	
えいごのおはなし会（レディバグ）	

※11月より1階はなしのひろばを制限を設けて読み聞かせルームとして開設した。（1回につき1組）

閲覧室内企画展示

テーマ	内 容	実 績
コーヒーの本	コーヒーに関連する小説・エッセイ、歴史、淹れ方や、喫茶店に関する本を約70冊展示。	11/26～1/19で貸出冊数228冊 貸出回転率326% コメント:喫茶店経営など、コーヒーをテーマにした中でも普段貸出の少ないジャンルを含めた。回転率は予想より高く、次のテーマ選定の参考にする。
クリスマスの本・ゆく年くる年	クリスマス、正月、冬の時期をテーマとする児童書を約120冊展示。	11/26～1/19で貸出冊数691冊 貸出回転率576% コメント:例年別々に実施している二つのテーマを同時に展示し、展示期間を長くした。特に人気のある「クリスマス」の本をより多く選書。
夜の事件簿	秋の夜長に読んでほしい、夢・妖怪など夜をイメージする本や、夜に起こる出来事をテーマにした本などを50冊展示。	11/1～1/19で貸出冊数137冊 貸出回転率274% コメント:小学校低学年には夜をイメージする視覚的要素の強い絵本、中高学年にはフィクション、ノンフィクション、知識の読み物を幅広く選書。
あったかいごはんが食べたい！！	読んだ後に今日の晩ご飯はこれを食べよう！という気持ちになるような、温かいご飯をテーマにした児童書(レシピ本を除く)を42冊展示。	12/23～1/19で貸出冊数91冊 貸出回転率217% コメント:閉架の本を全体の3～4割とした。展示棚の装飾をイラストなど工夫して、利用者の目に留まるようなレイアウトにした。

その他

南児童館 団体貸出	1/13(水) 南児童館へ団体貸出の本200冊の入替え
-----------	-----------------------------

2月の予定

おはなし会

事業名	日時・備考
大人のおはなし会〔読書会〕（吾亦紅）	中止 (新型コロナウイルス感染症拡大防止及びICシステム導入作業のため)
乳幼児向けおはなし会〔ブックスタート併用日〕 (職員+図書館ボランティア協力)	
おはなし会〔幼児から低学年〕（吾亦紅）	
乳幼児向けおはなし会（図書館ボランティア） 保健師育児相談	
ブックスタートのおはなし会（職員）	
おはなし会〔幼児から低学年〕（図書館ボランティア）	
乳幼児向けおはなし会（図書館ボランティア）	
えいごのおはなし会（レディバグ）	

閲覧室内 企画展示（2月から展示する新規分）

※図書館の開館状況により変更の可能性あり

テーマ	内容
さあ、召し上がれ(仮)	食事・食べ物に関連のある児童高学年向けの読み物を約60冊展示。

○新型コロナウイルス感染症拡大防止について

※臨時休館 3月4日（水）～5月31日（日）

※部分開館開始 6月2日（火）～

【部分開館内容】

- ・ 6月18日（木）まで、広域地区利用者の入館、貸出を不可とした。
- ・ 7月2日（木）まで、新聞・新刊雑誌閲覧、複写機の利用、1階部分の閲覧席の利用、館内すべての図書検索端末の利用を不可とした。
- ・ 8月7日（金）から、1階部分の閲覧席の利用を不可とした。
- ・ 9月1日（火）から、1階部分の閲覧席の利用を可とし（約半減）、滞在時間を30分から1時間以上とした。
- ・ 10月1日（木）から、平日の開館時間を午前9時から午後7時までに戻した。
- ・ 11月1日（日）から、2階学習室（会議室、多目的ルーム）と特別資料閲覧室の利用再開、貸館ルールの変更、はなしのひろばの開放を実施
- ・ 12月11日（金）から、サーマルカメラを出入口に設置
- ・ 1月19日（火）から、平日の開館時間を午前9時から午後5時まで（2時間短縮）とした。

○図書消毒機

9月25日（金）に1台設置

○ICシステム導入の準備

- ・ 作業日程：10月1日（木）から令和3年3月31日（水）まで
- ・ 導入作業に伴う変更点

本・雑誌・紙芝居の貸出冊数を5冊、貸出期間を2週間に戻す

2階AVルームを作業用に使用するため、令和3年3月31日（水）まで利用中止

令和2年度 中央図書館 事業進捗状況管理表

(R2. 3/4~5/31 新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時休館)

事業名	課題	目標	実施項目	進捗状況・結果	年間スケジュール												備考
					4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
1 新規読み聞かせボランティアの育成	読み聞かせの回数を増やしたい	団体を1団体(10人)増やす	1.新規ボランティアを対象とした勉強会(ボランティア同士の読み聞かせ披露と意見交換、おはなし会のプログラム作成など)を月1回実施。 2.事務局がフォローしながら、団体を立ち上げる。 3.新規ボランティアによる新たなおはなし会を実施する。	新型コロナウイルス感染拡大防止のためボランティアや団体の活動を控えており、勉強会の実施は中止した。 今後の勉強会の実施方法や開催時期について検討し、R3.3月に実施できるように調整中。	勉強会の実施 中止 新規ボランティア団体立ち上げ 延期 講師連絡調整 勉強会実施方法検討												第2次子ども読書活動推進計画 基本目標I-2-(4)
2 本の展示の実施	本の魅力を伝える機会が少ない	テーマ展示本の貸出回転率を1.2とする(展示冊数の1.2倍)	1.図書館員が自身で企画した展示の実施。 2.閉架の図書も展示図書に組み込む。 3.選定したテーマに基づき本を専用スペースに2ヶ月単位で展示。 4.展示本の位置情報の変更入力処理や、人目を引くディスプレイをし、利用者が手に取りやすくする。	①棚27番(南玄関)「コーヒーの本」 ②北玄関棚「クリスマスの本・ゆく年くる年」 ③棚19番(児童書架)「夜の事件簿」 ④棚24番(カウンター前)「あったかいごはんが食べたい!!!」	テーマ展示本の貸出回転率(%) 展示中止 展示リストをホームページに掲載 ①109% ①184% ①239% ①326% ②197% ②75% ②546% ②576% ③146% ③138% ③274% ④-1 266% ④43% ④44% ④183% ④217% ④-2 323% ⑤188%												教育振興基本計画 基本施策9「魅力ある図書館づくり」 ①図書館利用の促進
3 不明化対策事業	不明本が発生している	年間の不明本冊数削減(前年度の蔵書点検時不明本冊数124冊、目標100冊)	1.不明化傾向に基づく本の配置換え(随時)。 2.本にマーキング(館所蔵を表示) 3.持ち出し発生書架上に警告表示 4.「防犯カメラ設置中」等の表示の更新・場所替え(年3~4回) 5.職員による巡回による抑止力強化(1日2回程度)	・不明化傾向分析に基づく本の配置換えを継続。 ・本にマーキング(館所蔵を表示)を継続。 ・持ち出し発生書架内に警告表示を設置。 ・職員による閲覧室巡回を実施。	不明化傾向分析に基づく本の配置換え、本にマーキング(館所蔵を表示) 職員等による閲覧室巡回 未実施 表示の総点検実施 集計と検証(毎月) 黄ばみ等の点検、位置変更など												
4 延滞対策事業	延滞本が多い	・月次集計(3日~3年)時点での延滞冊数を700冊以内とする。 ・20日以上30日未満の延滞冊数を300冊以内とする。	1.1日以上延滞者へ窓口で注意喚起。 2.延滞者に督促はがきを毎週郵送。 3.20日以上延滞者へ毎週督促電話をする。 4.40日以上延滞者は貸出禁止措置後、次回貸出時に職員からの厳重注意(マナーの説明、イエローカードを渡す)。 5.新規登録者に対する延滞注意喚起方法を導入する。	・100日以上延滞者への封書による督促をした。 ・臨時休館以前の返却日の延滞者への督促はがきを郵送した。 ・15日以上30日未満冊 ・30日以上100日未満冊 ・20日以上3年未満(督促電話)冊 ・40日以上(貸出禁止措置)冊	延滞者に督促はがきを毎週郵送(通年)15日以上30日未満 該当なし 延滞者へ注意喚起カードを窓口で配布(通年) 該当なし 集計と検証(毎月)3日以上3年未満の合計												